

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

英 語		東京書籍
総 評		<p>教科書からたくさんの発見をしながら、英語の見方・考え方を働かせられる作りになっている。言語の使用場面や働きを重視し、英語を使って主体的に学ぶ意欲を引き出すよう工夫されている。</p> <p>学校調査においても「主体的で対話的な深い学びの実現に向けた授業改善に役立てることができる」と評価された。</p> <p>ページによっては写真やイラスト、英文などがたくさん載っている反面、情報が多く煩雑になっている部分もみられる。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「音に出会う」「会話に慣れる」「コミュニケーションを楽しむ」「世界を広げる」という4つの行程を通して、基本的な単元や表現を学ぶことができるように工夫されている。</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の姓名と同時に世界の姓名についても学ぶことで、異文化理解を深めることができる。（5年 P.16）</li> <li>○ コミュニケーションカードやアルバムシートなどを用いて対話の場面を設け、ペアワークやグループワークなどの活動を設定しやすいように工夫されている。（6年 P.68）</li> <li>○ 4線の幅は真ん中が広めになっている。アルファベットの書き取り練習では、文字を書き始める位置や書き順が示されている。</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1ページあたりの英文や文字の量が考えられており、親しみやすくなっている。</li> <li>○ 巻末のカードにミシン目が入っており、切り取りやすくなっている。</li> <li>○ A4版になっており、とても見やすい。</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字が大きく、全体的に圧迫感も少ない。</li> <li>○ 食物連鎖についての発表など、教科横断的な要素がある箇所についてリンクマークで示すなどの工夫がされている。</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 別冊の「Picture Dictionary」に学習する単語がジャンルごとにまとめられており、参照しやすくなっている。単語には文字だけでなく、4線が載せられている。</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特になし</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 振り返りが少なく、既習事項の確認が難しい。</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ページによっては写真やイラスト、英文などがたくさん載っている反面、情報が多く煩雑になっている印象を受ける部分がある。</li> <li>○ 4線の幅の真ん中が広がっていることが、書きやすさにつながっている部分もあるが、一方では字形の取りにくさにつながっていることも考えられる。</li> <li>○ 日本語が多く、日本語で書かれている部分に目が行ってしまう。</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他教科での学習事項を取り入れているものの、それによって単語や言い回しが難しくなってしまう部分がある。（6年 P.42）</li> <li>○ 振り返りの場面が少ない。</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 別冊の「Picture Dictionary」にあるクラスルームイングリッシュの説明が丁寧すぎて長い。</li> </ul>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

英 語		開隆堂出版
総 評		<p>○ 基礎を確実に身につける「くり返し」の学習を充実させた単元構造になっており、「Let's Listen」や「Let's Play」などのさまざまな活動を通して新しい語彙や表現を学んだ後、まとめでは学んだことをコミュニケーション活動で定着できるよう設定に工夫がなされている。また、他教科との連携した活動も多く設定されており、総合的な学びができるよう配慮されている。</p> <p>後半には「文字になれよう」という書く活動のワークシートがあり、丁寧に指導できる工夫はされているが、全体的に量が多く感じられるとともに、内容にも偏りがみられる。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ テーマ設定を5年生では「自分のこと」、「身近なこと」とし、6年生では「日本のこと」、「世界のこと」へと発展させており、6年生の最後には中学校や将来を意識するようなテーマを設定し、発達段階に応じて視野を広めたものとなっている。
	2 内容の取扱い	<p>○ アルファベットを書くことに丁寧に取り組めるよう、後半の書くワークシートには書き順がつけられている。</p> <p>○ Lesson の最後には、発表や話し合いなどの伝え合う場面を「自分の町の紹介」など、子どもたちが主体的に取り組みやすいテーマで設定されている。(5年 P.73)</p> <p>○ 「How much～?」の表現を好きな食べ物を選ぶ場面で取り上げ、子どもたちが興味をもつ工夫がされている。(5年 P.63)</p> <p>○ ペアやグループワークでカードやポスターを作るなどの多様な活動が設定されている。</p>
	3 外的要素	○ 識別しづらい色遣いをさげ、色の認識に困難のある児童に混乱が生じないように配慮されている。
	4 構成・配列	<p>○ 他の教科と連携した情報や表現、活動が設定されている。(5年 P.70)</p> <p>○ 巻頭の「CAN-DO リスト」が1年を通したものに立っており、学びの流れがわかりやすいよう工夫されている。</p> <p>○ 単元の「CAN-DO リスト」が顔のマークになっており、簡単に楽しく振り返りができる工夫がされている。</p>
	5 資料・その他	○ 後半の書くワークシートがジングルや歌とセットになっているなど、音声とむすびついた「書くこと」の活動が設定されている。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	<p>○ 「聞くこと」の活動として、ゲームの設定が多い。</p> <p>○ わかったことなどを絵にかく活動が多いが、絵で表現する必要性があまり感じられない。</p>
	3 外的要素	○ 1ページに英語の表記が多く、イラストとセットにすることで文字の大きさが小さく、見づらい箇所がある。
	4 構成・配列	○ 巻末のワードリストにイラストがない。
	5 資料・その他	<p>○ 後半の書くワークシートの量が多く、書く活動内容が単語に偏っている。</p> <p>○ 巻末のカードのサイズがそろっていない。</p>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

英 語		学校図書
総 評		書くことの活動に関しては、児童の発達段階や特性等を踏まえながら、細かい注意点の明記やなぞり書きを教科書内に入れ込むなど、各所に工夫が見られる。日本語での補足説明や資料が多く情報が充実している反面、興味・関心のある題材や、言語材料の分量や掲示の仕方についての配慮が不十分に感じられる。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 基本的な4技能を育成する内容を配置しつつ、レッスンのまとめや「文字とコラム」等のコーナーを設けて内容の充実を図っている。
	2 内容の取扱い	○ 英文を書く際には4線が添えられており、「なぞる→書く」という流れになっている。 ○ 単元の最初に目標が示されており、見通しをもって学習を進めることができる。 ○ ピリオドやコンマ、単語間のスペースなど、英文の書く時のきまりが細かく確認されている。(5年 P.94) ○ チャンツやジングルだけでなく、昔から歌い継がれている歌が収録されている。
	3 外的要素	○ 4線の幅は、真ん中が少しだけ広くなっており、英語が書きやすくなっている。中学校への移行がスムーズに行える。
	4 構成・配列	○ 単元ごとにCAN-DOリストがついていて、振り返りを行いやすい。 ○ ページ数が多く、情報が多くなっている。
	5 資料・その他	○ 物語が多く紹介されており、児童の興味を引く。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 日本語での補足説明が多く、教科書に記されている英語よりも日本着に着目してしまう。
	3 外的要素	○ AB版で153ページという構成になっている。教科書が分厚く、重い。 ○ 英語、日本語ともに表記が小さく、多い印象を受ける。 ○ ページによっては写真やイラスト、英文などがたくさん載っている反面、情報が多く煩雑になっている印象を受ける部分がある。
	4 構成・配列	○ 全体的に詰め込み過ぎており、全てにおいて情報が多すぎる。
	5 資料・その他	○ 巻末に単語のカードがない。 ○ 巻頭にクラスルームイングリッシュがあるのは良いが、動作のイラストと単語の繋がりがわかりにくい。 ○ ページ数が多くとても重い。

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

英 語		三省堂
総 評		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年に3つの大単元を設定し、その中に「HOP」「STEP」「JUMP」の小単元を配置することで1年間の学習の流れがわかりやすい工夫がされている。また、パターン化された紙面構成になっており、気づきを促すインプットとして見開き1枚のイラストで、学ぶ場面やテーマにあった単語・会話に触れることができるように配慮されている。 大単元のみまとめとして「JUMP」では様々なグループ活動が設定されているが、その活動を英語で行う必要があるのか、また時間設定が適切なのか疑問に感じる部分もある。</li> </ul>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほとんどのLessonのめあてを「～を伝えよう」と設定することで、子どもたちが主体的に考え、対話を通して学習に取り組める工夫がされている。</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Story」「Reading」「Listening」をLesson毎に1つずつ設定することでより英語への興味を持ちやすい工夫がなされている。</li> <li>○ 「How much～？」の表現を実際に使える表現として取り上げ、子どもたちが興味をもつ工夫がされている。（6年 P.67）</li> <li>○ テーマ設定を5年生では「自分のこと」や「自分の周囲のこと」、「日本のこと」に6年生では「自分たちのこと」や「将来のこと」、「世界のこと」とし、子どもたちの発達段階を考慮した内容としている。</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書く活動で用いる4線は、少し真ん中が広い独自のものを用い、小文字が書きやすいように配慮されている。</li> <li>○ 大単元をもくじから3色に分けて記載することで、学びの流れが目に見える工夫がされている。</li> <li>○ 見開き1枚のイラストで、学ぶ場面やテーマにあった単語・会話に触れることができるよう工夫がされている。</li> <li>○ 語句リストはイラスト付きでテーマごとにまとめられている。</li> <li>○ 子どもたちにとってあまり見慣れない色彩やタッチのイラストを使用することで、児童の興味を引きつける工夫がなされている。</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「見通し・習得・活用」の3段階で大単元を構成し、学期ごとに1つずつ設定することで、見通しを立てやすい工夫がされている。</li> <li>○ 巻末に「CAN-DO リスト」がついており、どの単元で何を学んだかを振り返ることができる。</li> <li>○ 単元の振り返りでは、できたことの振り返りだけでなく、次の学びや活動に生かせる項目が設定されている。</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ クラスルーム・イングリッシュをイラスト付きでまとめ、参照しやすい工夫をしている。</li> <li>○ 「Reading」の文字は大きめで、子どもたちに負担なく取り組める適度な量が設定されている。</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特になし</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界と日本とのつながりを扱う単元がやや少ない。</li> <li>○ グループワークの内容が充実している反面、その活動を英語で行う必要性を感じられないものも多い。</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループでのやり取りは多いものの、発表の機会が少ない。</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループワークの活動において、時間がかかりすぎるものが懸念される。</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特になし</li> </ul>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

英 語		教育出版
総 評		他教科との横断的な視点で配慮がされていて、効果的な指導が期待できる構成になっている。コミュニケーションを取る際のポイントや反応の仕方を示すことで、主体的・対話的な学びの実現を目指している。英語に対する児童の負担が考慮されている一方で、活動量の少なさが懸念される一面もある。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「できる」「楽しい」と感じられるようにやさしい活動から始まり、インプットとアウトプットのバランスよく力を高められるように工夫されている。
	2 内容の取扱い	○ 「コミュニケーションをとる時に大切にしたいこと」が表記されている。（5年 P.5） ○ 「読むこと」についての児童の負担を考慮し、文字量が抑えられている。また、各単元末に音声と文字のコーナーが設けられている。 ○ 友達の「将来つきたい職業」に対して、聞き方やリアクションの表現が具体的に扱われている。（6年 P.89）
	3 外的要素	○ アルファベットの書き取り練習では、文字を書き始める位置や書き順が示されている。（5年 P.23） ○ 巻末のワークシートや単語カードに切り込みが入っており、活用しやすい。 ○ 4線の幅は真ん中が広めになっており、書きやすさが配慮されている。
	4 構成・配列	○ 農産物や世界遺産、国内の名所などが英語で表されている。（5年 P.74） ○ 道徳「はしの上のおおかみ」や国語「お手紙」など、他教科で学習した物語が収録されている。 ○ 6年での最後の単元が、中学校に向けての自分を扱った内容なので、児童にとっては親しみやすい。 ○ 単元ごとに CAN-DO リストがついていて、振り返りを行いやすい。
	5 資料・その他	○ 巻末にあるワークシートは、児童の興味を引くと同時に、学習の記録として使える。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 「読むこと」や「書くこと」への負担感にたいして配慮されている一方で、活動量の少なさが懸念される一面もある。
	3 外的要素	○ ページによっては、文字の大きさが小さくなっていたり、単語の数が多くなっていたりするところがある。（6年 P.46、P.47）
	4 構成・配列	○ クラブルームイングリッシュのページに、英語での表現が無い。
	5 資料・その他	○ ペアワーク・グループワークが若干少ない。 ○ CAN-DO リストの一覧が無いので、全体的な見通しが立たない。

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

英 語		光村図書出版
総 評		○ 英語を使って他者とコミュニケーションをするために必要な、文化的背景などを理解し、コミュニケーションできるよう、世界の子どもたちに関する音声などの資料や、聞き方・話し方のポイントが盛り込まれて、指導者が意図的に指導できるよう工夫されている。また英語を使ってやり取りをする必然性のある場面設定となっているため、児童が興味を持ちながら英語を使うことができると考えられる。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 巻頭に「言葉の学習には、時間がかかります。だれもがまちがいをしながら、正しい言葉の使い方を理解していきます。」と書かれており、児童が安心して学ぶことができるよう配慮されている。
	2 内容の取扱い	○ 「4つの『たいせつ』」という頁や、友だちとやり取りを行う活動の際に、「聞いたら、繰り返して確かめよう」「話を聞いたら、質問をしたり、感想をいったりしよう」等、コミュニケーションをする上で大切にしたいポイントが明記されている。 ○ 「あいさつ」「自己紹介」「お祭り」「時間割」など、世界の子どもたちに関する英語の紹介が随所に取り入れてあり、児童が興味を持って聞き取りながら、言語の背景にある文化に対する理解を深めることができるように工夫されている。 ○ 単語と単語の間にスペースをとること、アルファベットの書き順が明記されており、言語事項についての学習に配慮がされている。 ○ 児童が英語でやり取りする場面が自然に設定されており、実生活の場面で活用したくなる表現が設定されている。また、友だちについて予想したり調べたりしたことをもとに、考えたことを発表するなど、自分の考えや気持ちなどを伝えあう基礎的な力を養うよう配慮されている。
	3 外的要素	○ ペンマンシップシートが巻末にあり、何度も繰り返し書くことができるように工夫されている。
	4 構成・配列	○ 各ユニットの初めに学習のゴールの説明があるとともに、ユニットの終わりには振り返りをするコーナーがあり、児童が時間毎に「何ができるようになるか」を意識して学習に取り組める工夫がなされている。
	5 資料・その他	○ 世界の子どもたちに関する資料が多く、児童が興味を持ち、学習意欲が高まる工夫がされている。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 他の教科とのリンク数が少ない。
	3 外的要素	○ 4線のうち、2・3線の間がやや広くなっており、アルファベットを書きやすい配慮がされていると感じるが、中学校では同じ幅であるため混乱を招く恐れがある。 ○ 全体的に文字が小さい。
	4 構成・配列	○ 「世界の友達」では情報が多く、圧迫感がある。
	5 資料・その他	○ 巻末の単語カードにミシン目が入っておらず、使いにくい。

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

英 語		啓林館
総 評		○ 英語を繰り返し聞くことが大切であることから、全てのユニットにおいてイラストを見ながら聞く活動が盛り込まれているが、その後のペアやグループなどさまざまな学習形態を用いてやり取りをする活動などの設定が少なく、やや単調な単元構成となっている。また身近な事柄を題材にしたユニットや資料提示が多く、世界の文化に触れる機会は少なくなっており、言語の背景にある文化に対する理解を深めることへの配慮が十分ではない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 巻頭に「保護者の方へ」という頁で、「英語を学ぶことを通して、言語や文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度や、情報を整理しながら考えたり、伝えたりする力を身に付けていきます。」とあり、主体的な学びへの意識づけがされている。
	2 内容の取扱い	○ 「すっぱい」「にがい」「かわいい」「かっこいい」など、子どもたちがやり取りの中で言いたくなる形容詞などを扱えるように配慮している。
	3 外的要素	○ 巻末の絵カードの一つ一つにミシン目が入っており、児童がはさみなどで切り取って使う際に、短時間で扱いやすい配慮がされている。 ○ 各ユニットのはじめの頁に、「できること好きなこと」など、テーマに沿って、思わず見つけたくなるイラストになっている。 ○ アルファベットの書き順や始点が明記されており、正しい指導がしやすい配慮がされている。
	4 構成・配列	○ 各ユニットの初めに学習のゴールの説明があると同時に、ユニットの終わりには振り返りをするコーナーがあり、児童が毎時間毎に「何ができるようになるか」を意識して学習に取り組める工夫がなされている。
	5 資料・その他	○ ワードリストがジャンルごとに分かれており、イラスト付きで見やすい工夫がされている。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ ペアまたは全体での発表と、学習形態が単調で変化があまりない。マンネリ化することで、児童がやり取りをする楽しみなどを感じにくくなることが懸念される。
	3 外的要素	○ アクティビティーも少なく、ゲームが特に少ないように感じる。
	4 構成・配列	○ 話すこと（やり取り）が少ない。
	5 資料・その他	○ 身近な事柄を題材にしたユニットや資料提示が多くなっていて、世界の文化に触れる機会は少なくなっている。